



平成 30 年度人材育成プロジェクトにやりほっと推進委員会

# 人プロYWT

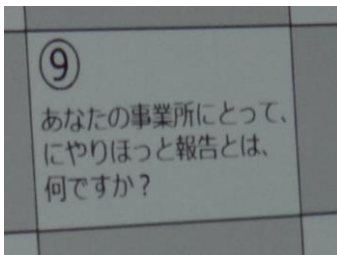
(Y) やったこと / (W) わかったこと / (T) つぎにやること

場所  
特別養護老人ホームさくら

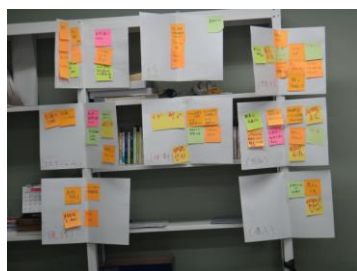
編集  
小島陽子  
野崎建治郎



◀今日はこんな事を行なっています。



◀私のトークツリーです



▲検討しなきゃいけないことがこんなにたくさん!!



▲にやりほっとの説明を書くのは誰がいい?



◀▲  
Aチーム・Bチームにわかれまして



◀▲  
検討した結果報告



## (Y) やったこと…なにをやったか

さくらにてにやりほっと推進委員会を行いました。最初に足立・多摩で行った会議報告を口頭で説明しています。次に導入時の周知内容についてトークツリーワークショップを行い、「自分の事業所におけるにやりほっとの木」を作成しました。それぞれの事業所で、にやりほっと報告を何のために、誰のために行ない、どんなことをもたらそうと思うのか、にやりほっととは何か?を考えました。午後はAグループ、Bグループに分かれてにやりほっと報告の実行素案を作成、Aグループは発生～事業所内共用について、Bグループは選定・表彰・事業所間共有について検討しました。

## (W) わかったこと…気づき、学び、感想

にやりほっとを発信していく、という一つの事柄の実施手順について、施設それぞれの状況を踏まえてひとつひとつ決めていくため、回を重ねる度に複雑になっていきます。そのひとつひとつをどう解決していけるのか、自分にとっても大きな課題です。今回、記名でにやりほっとを発信することが、支援についての職員間での意見の食い違いをかえって増幅させてしまうのではないか…などの意見が出ました。今回のにやりほっとの取り組みが、お互いの考え方や捉え方の違いを分かり合う機会になるといいなと思います。

## (T) つぎにやること…次回にむけて

次回の推進委員会までには、にやりほっととは何か?にやりほっとは何のために行なうのか?職員への説明はどうするのか?を検討します。プレの期間を一週間行いますが、その時、報告書をどう掲示するのか、どの職員が行うのか等も検討します。